

【奨励賞】

団体名	お仕事体験塾実行委員会
活動の内容（概要）	教育委員会と地元にある企業や保護者、中・高・大学生ボランティア等とが協力し、実行委員会を組織し「小学生お仕事体験塾」を開催している。小学生に多様な職業体験の機会を与えることで、職業観及び勤労観を醸成し、未来の柏崎市の活性化のために自ら貢献しようとする志を持った人材育成に取り組んでいる。

受賞理由

- 楽しく学べる企画だからこそ児童が主体的に取り組んでいる。また、それだけではなく、仕事の大切さや働く工夫について、各企業の成功体験や柏崎で働く喜びを伝えることが功を奏しているということがアンケートからも明らかである。
- 小学生を対象とした取組で、似たようなプログラムもある中、小学生の段階でいろいろな価値観を経験させてもらうことができとてもよい取組である。
- 小学校におけるキャリア教育の重要性がはっきり見て取れる。
- 企画段階からデータに基づいて検証するなど、比較段階から振り返りまでの道筋が仕組みとして明確にできている。
- 卒業した中高生や大学生、地域で育った子供たちも関わりながら、ボランティアとして参画し、町の担い手になるというプロセスにもなっており、協働的な動きをダイナミックに作っている。
- 地域を作る担い手の育成だけではなく、地域で深い人間のつながりや、産業界とのつながりを実体験し、深い学びができる。

連携・協働している機関や団体、組織

【教育関係者（学校、教育委員会等の機関や団体）】

柏崎市教育委員会、柏崎市立小学校、柏崎市立中学校、県立柏崎翔洋中等学校、県立常盤高等学校、県立柏崎総合高校、新潟産業大学

【行政や地域・社会、産業界等】

柏崎市議会、（一社）柏崎青年会議所及び柏崎市にある事業所の医師、弁護士、建築関係など出店事業所、業種49。

活動開始の経緯

【活動開始時期】平成26年～ 【継続年数】6年

お仕事体験塾は、2015年から柏崎市青年会議所の事業として2年間実施した後、17年から任意のお仕事体験塾実行委員会を組織して柏崎市教育委員会と連携して官民が一体となって開催している。本年度で連続6回目となった。

「協力性」についての具体的な取組、工夫している点など

お仕事体験塾実行委員会は、地元の企業経営者、民間企業従事者、市内教員、教育委員会職員の16名で組織し、共通の理念として「柏崎で働く大人の思いに触れ、未来の柏崎をつくる子どもの育

成」を目指している。さらに、出店事業所には、お仕事体験塾の趣旨の徹底を図る目的で、事前説明会（7月4日）を開催した。説明会では「事業所間で力を合わせ、柏崎の未来の子どもたちを輝かせよう」という願いから、「仕事の大切さを伝える。働く工夫について伝える。各企業の成功体験を伝える。柏崎で働く喜びを伝える。」を合い言葉として取り組むことを確認した。

「継続性」についての具体的な取組、工夫している点など

6年間継続できたのは、本事業が「子どもたち・出店事業所・学校」にとってそれぞれ有意義であったことによる。毎回開催後、具体的な取組内容についてそれぞれにアンケート調査を行い、評価から改善を行っている。

児童アンケートでは、お仕事体験塾で出会った様々な業種や人々とのふれあいから、郷土への愛着と誇りをもち「将来柏崎で仕事をしたい」（91.0%）の意識が育ってきている。その理由は、「柏崎には働きたい仕事がたくさんあった。」「柏崎には優しく一生懸命に教えてくれる人や楽しく働いている人がいる」と答えている。

出店事業所アンケートでは、事業所間で連携して、さらに働く人々が一体となって、柏崎の未来を担う子どもたちを育てていこうとする意識の高まりが感じられた。特に、柏崎の未来の子どもたちを輝かせたいという願う事業所が多くなってきている。

お仕事体験塾は、子どもたちが働くことの意義を理解し、よりよく生きる基盤形成に役立った。さらに、児童が将来の進路を考える態度や意志、意欲などを培うことのできる重要な意味付けにつながった。

実行委員会では事前に7回の会議を開催し、改善点を明らかにしながら「出店事業所への働きかけ、運営面での改善、参加校への事前指導資料の配付」等に取り組んだ。

「実践性」についての具体的な取組、工夫している点など

新学習指導要領では、キャリア教育の充実として社会的職業的自立に向けての資質・能力の育成を目指している。児童の感想では「この体験から初めて将来について真剣に考えるようになりました。私は市の職員として将来柏崎の発展に力を入れたいと思いました。」「私は7つの体験をしました。仕事をする事で人のためになることを初めて知りました。」と答えている。

さらに各学校からの報告では、「お仕事体験塾の活動から、児童は働くことの意義を理解した。また、これまで意識していなかった将来の進路を考える態度や意欲などを培う重要なきっかけとなった。」と回答している。このように学校が目指すキャリア教育の充実の本お仕事体験塾が役立ったと推察される。



<薬剤師体験の子どもたち、薬の調剤を体験しました。>

「発展性」についての具体的な取組、工夫している点など

平成26年第1回のお仕事体験塾では出店事業所が20箇所であった。昨年45箇所、本年49箇所と出店事業所が増えてきている。その背景には、柏崎の企業が人材確保に課題があることや、お仕事体験塾の意義が新聞、テレビなどのメディアにより市民への認知が高まったこと、さらに最も大きな要因は、出店事業所が直接子どもたちと関わり、働くことの思いや郷土を愛する意識を育てることにつながったと実感できたことが大きい。

お仕事体験塾実行委員会では、出店事業所を対象とした「出店事業所説明会」を開催している。若者が柏崎市を離れていく傾向がある中、企業が協力、連携して子どもたちに職業体験から職業観、勤労観を醸成し、郷土愛を育て未来の柏崎の活性化のために貢献しようとする意識を育てることについての理解が高まってきている。

出店事業所へのアンケートでは、「柏崎の未来の子どもたちを輝かせたい」（93%）と高い評価を得ている。さらに事業所の感想では「すぐに仕事がうまくなるのではなく徐々に上達することが、仕事の難しさであることを伝えられた。」と満足感を得ていた。出店事業所全体で柏崎の子どもたちを育てたいとの思いが生まれてきている。

本実践に対する柏崎市民の期待度は高まって来ている。実行委員会では、啓発活動の充実を図り、市民と一体となって柏崎の未来を担う子どもたちを育てていこうと考えている。

学校現場の評価・感想・コメント

各学校（引率者、教員ボランティア）から寄せられた感想は次の通りである。

- 運営がスムーズで、子どもにとって炎天下でもストレスフリーで快適に様々なお仕事を体験できていたように思いました。
- 体験してみたい仕事が多くあり、こんなに恵まれた環境が用意されている柏崎の子どもたちをうらやましく感じてしまうほどでした。ぜひ来年からも、より多くの子どもたちに貴重な体験をさせてあげたいと思いました。
- 真夏の屋外の暑い中での体験でしたが、興味のある仕事にどんどん向かっていく姿が、見ていて大変頼もしかったです。
- 何を体験しようか迷っている様子の子どもたちに、「あそこでは、こんな体験ができるみたいだよ」と声を掛けると、「やってみようかな」と向かい、体験が終わると笑顔でブースから帰る姿も多く見られました。柏崎市のお仕事体験塾のすばらしさに感動しました！

関係諸機関（行政・産業・地域団体等）からの評価・感想・コメントなど

出店事業所のアンケートでは、子どもたちに「働くことの想いを伝えることができた」（80%）と回答している。さらに、子どもたちの「柏崎への郷土愛を育てることができた」（80%）でも同様の結果であった。さらに具体的な記述では

- 子どもたちに柏崎の良さを知ってもらえたと満足している。
- 自分たちの仕事を知ってもらえ、この仕事に就きたいと思う子がいたことが柏崎への愛着につながった。
- お仕事体験塾のイベントに参加して良かった。次年度も参加したい。



<児童、出店事業所スタッフ、ボランティア、引率、保護者を含めて1,500名が参加。>